

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

令和 2 年度病害虫発生予察注意報第 9 号を公表したので送付します。

令和 2 年度病害虫発生予察注意報第 9 号

- 1 作物名 コギク（年末出荷用）
- 2 病害虫名 アブラムシ類
- 3 発生地域 沖縄本島

4 注意報発令の根拠

沖縄本島における 10 月のほ場調査の結果、本種の茎当たり成幼虫数は 0.45 頭/茎（平年：0.0 頭/葉）、発生ほ場率 87.5%（平年：19.9%）となり、平年と比べ多発生となっている（図 1、図 2）。

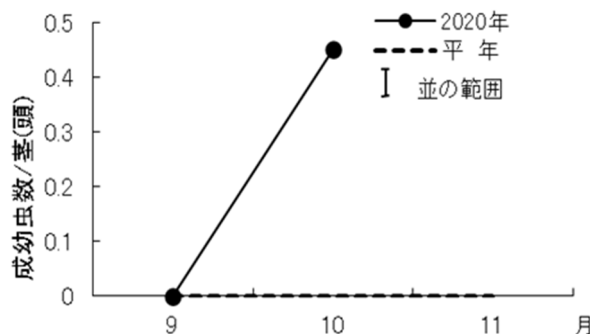


図 1 今期と平年の発生推移

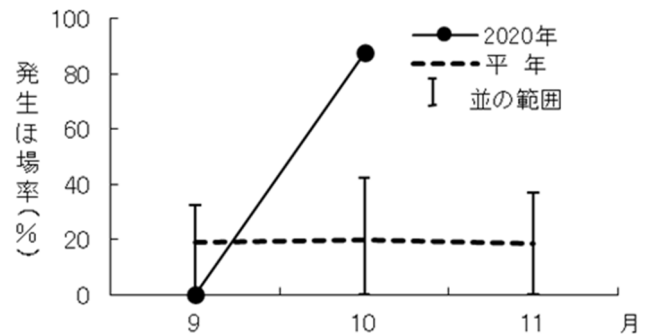


図 2 発生ほ場率の推移

5 発生生態および被害

- (1) キクヒメヒゲナガアブラムシ、タイワンヒゲナガアブラムシ、ワタアブラムシなどが寄生する。
- (2) 有翅形と無翅形がある。
- (3) キクヒメヒゲナガアブラムシの成虫は体長 1.8~2.6mm、体色は光沢のある暗赤褐色、または赤色をおびる黒褐色で発生初期は葉裏に寄生することも多いが、多発すると新芽や葉裏に群生する。タイワンヒゲナガアブラムシの無翅雌虫の体長は 3~3.5mm で体は暗赤褐色で腹部は黒褐色で光沢がある。有翅雌虫は体長約 3mm で頭部と胸部は黒色、触覚は体長よりはるかに長く腹部側面に円形の斑紋がある。茎の上部に多く、ときには葉の裏に寄生することがある。ワタアブラムシは黒、黄、緑など体色に変化が多く、同じコロニーであってもいくつかの体色の個体が混じり合っていることも多い（図 3、4）。
- (4) アブラムシ類のは年中発生し、特に 10 月~翌年 4 月にかけて多発し、生育を著しく阻害するため発生初期の防除に重点を置く。
- (5) キクヒメヒゲナガアブラムシはヨモギ、ヨメナなど、タイワンヒゲナガアブラムシはノゲシ、アキノノゲシ、オキノゲシ、ニガナ、レタスなど、ワタアブラムシは野菜、花き、果樹類など多数の雑草や植物に寄生する。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 粒剤を施用するとよい。
- (2) ほ場を丹念に見回り、新葉部を中心に発生が認められたら薬剤散布を行う。
- (3) 薬剤抵抗性を発達させやすいため、同一薬剤の連続使用を避け、ローテーション散布を行う。
- (4) ほ場周辺の雑草を除去する。



図3 多発時の様子



図4 有翅虫